

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35838
事業名	部活動外部人材活用費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-211-3851
施策名	地域社会での体験活動など、多様な学びの機会が提供され、学校、					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	少子化の影響による生徒数の減少や学校の小規模化、顧問教員不足などにより、学校によっては、生徒が希望する部が開設できないこともある中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する必要がある。また、教員の働き方改革が喫緊の課題である中、市教委がR5年7月に実施した中学校教員を対象としたアンケート調査では、部活動顧問を担当する教員の9割が部活動指導を負担に感じており、顧問に従事したくないと答えた教員の割合も7割となっていた。国のガイドラインにおいて、R5～7年度を改革推進期間として、まずは休日部活動の段階的な地域連携・地域移行を進めることとされていることや市長公約を踏まえ、部活動指導員等の外部指導者の更なる活用及び札幌市の実情に応じた持続可能なスポーツ・文化芸術活動の環境整備が必要。
	事業内容（何を実施し）	部活動を単独で運営可能な部活動指導員の中学校への派遣等、専門的外部人材の活用により、部活動の更なる充実及び運営効率化を図るとともに、地域スポーツ活動モデル事業の実施等により、部活動地域移行及び地域スポーツ・文化芸術活動の機会確保に向けた検討を進める。
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	外部指導者の活用等による部活動の効率的・効果的な運用や地域における新たなスポーツ・文化芸術環境の整備により、少子化の中でも、将来にわたり、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保する。
	他都市の状況	各政令市においても部活動指導員の活用を進めている状況にある。特に横浜市は146校に864人(全校配置)、神戸市82校に311人(全校配置)の部活動指導員を配置しており(いずれもR5年度現在)、外部人材の活用による部活動の効果的・効率的な運営に向けた取組が充実している。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	51,487 千円	うち特定財源	15,785 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度予算額	72,000 千円	うち特定財源	22,712 千円	正規職員業務量	1 人工
令和5年度決算額	56,937 千円	うち特定財源	17,309 千円	正規職員業務量	1 人工
令和6年度予算額	102,000 千円	うち特定財源	32,973 千円	正規職員業務量	1 人工

指標	アウトプット活動指標1	部活動指導員等の派遣人数				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		91名	98名	98名	115名	318名	318名
	↓						
	アウトカム成果指標1	部活動指導員配置による顧問従事教員の減少数(前年度比)				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
					17名	32名	47名
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	部活動指導員等の外部人材の効果的な配置により、部活動顧問に従事する教員の人数が減少しており、教員の働き方改革に寄与している。					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	部活動指導員の増員(R5:68名→R6:83名)
来年度以降の方向性	中学校のニーズに応じて、部活動指導員等の外部指導者の更なる拡充を図る。